

化学リテラシー（1年生前期）

化学リテラシーは、化学の基礎知識の活用を含む個人・グループ活動のほか、文献調査や発表会を通じて、化学を軸にした社会や集団との関わり方を学びます。また、化学科では4~6人の学生につき1人の指導担任を置くチュートリアル制度を導入しており、大学生活へのスムーズな移行の橋渡しをします。チュートリアルは、化学リテラシーの授業の一環として実施されます。化学リテラシーの授業の一部を紹介します。

・チームビルディング

新年度最初の授業が始まる前に緩やかな人間関係ができていないと、いいスタートを切ることができません。自分のことをより深く知る、友人のことを深く理解する、チームワークを体験することを目標とした、チームビルディングという活動を行っています。みんな最初はぎこちないのですが、すぐに打ち解けて、歓声が聞こえるようになりました。2023年4月は換気に配慮しながら、対面で実施しました。



・実験大会

Aという物質とBという物質を反応させると、一定量の目的物を得ることができます。AとBの質量の和を10グラムとしたとき、最も多くの目的物を得るための条件を探し、その正確さをグループで競い合います。



・課題研究と発表会

あらかじめ提示した共通テーマ（入学後のお楽しみ）をもとに、グループごとに課題を設定して文献調査を行い、それをスライドにまとめて発表します。発表会の司会進行、運営も学生達で分担しながら行います。

